



県警HP

金属窃盗特化型

Metal News

メタルニュース



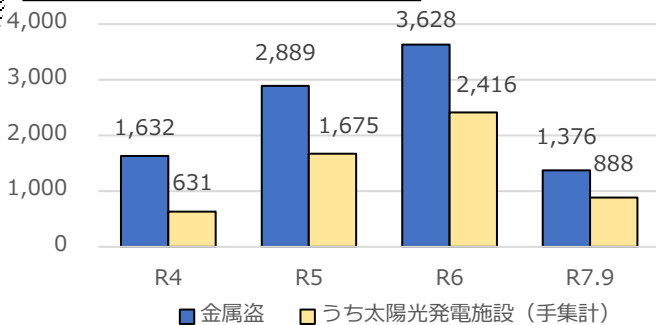
令和7年 第10号



防犯アプリ

金属類を対象とした窃盗事件の発生状況

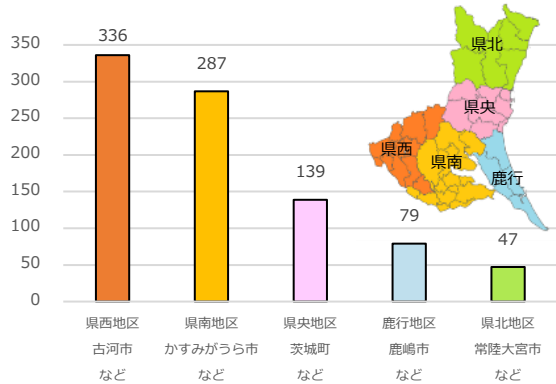
1 金属盗の発生件数（暫定値）



茨城県は、金属盗の発生件数が **全国最多**
発生件数は、昨年同時期 **約53%減少**
太陽光発電施設での被害が **約65%を占める**

太陽光発電施設関係の発生状況

2 令和7年9月末の地域別の発生件数（暫定値）



県西・県南地区で約7割
小規模太陽光発電施設でも発生

金属盗等の現状と対策

金属盗対策、推進中！

警察では、犯罪発生状況を分析した結果を踏まえパトロールを強化し、銅線ケーブルを盗んだ犯人など金属窃盗事件の犯人を検挙しています。

詳細は、県警HP・防犯アプリ（いばらきポリス）をご確認下さい。
※ 情報は随時更新



また、4月から施行された「茨城県特定金属類取扱業に関する条例」に基づき、立入を行い、金属買取業者に対して、売買時の本人確認など条例の規定を遵守するよう指導しています。

違反があった業者には「許可取消」など必要な行政処分を実施しています。



色々な金属が狙われています！

県内では、水田や公園などの蛇口やバルブを狙った窃盗事件の他、橋や道路上の銘板を狙った窃盗事件が発生しています。

管理者の方は、非金属製品への交換など防犯対策の強化をお願いします。



「盗難特定金属製物品の処分の防止等に関する法律」の施行！

業務その他正当な理由なく、一定のケーブルカッター・ボルトクリッパーの隠匿携帯が禁止されました。
詳細は、県警ホームページなどをご覧下さい。



主な被害品とは ・銅線・銅管



太陽光発電施設被害抑止対策

複数対策が有効です！

- ・フェンスセンサーやワイヤーセンサーの導入（異常時に通知を行うもの）
- ・機械警備の導入（ケーブル切断などの異常を感知し、通知を行うもの）
- ・警報装置の設置（音や光で犯人を威嚇し、周囲に異常を知らせるもの）
- ・引込柱や集電箱へのフェンスやカバールの設置（ケーブル切断対策）
- ・ケーブルが引き抜かれないための対策（埋没・固定など）
- ・防犯カメラ（AI・警報機能付き）などでの夜間監視体制の強化
- ・アルミケーブルの導入
- ・センサーライトなどの照明機器の設置

